

プロジェクトチーム(PT)の始動

私たち会派は11月、現在の大阪の課題を整理し、検証するため『**万博**』『**副首都・高速道路**』『**教育・子ども**』の3分野に分けて、プロジェクトチーム(PT)を立ち上げました。

各プロジェクトチームには、それぞれPT座長を置き、府担当者や有識者からのヒヤリング及び、現場調査などを行い、平成29年2月をめどに報告書にまとめます。報告書はそれぞれ、府政に反映させるために府や国の関係機関に提出する予定です。

すでに昨年11月より、各PTは始動しており、活発な意見交換が行われています。

3分野のPT(プロジェクトチーム)

万博PT

副首都・高速道路PT

教育・子どもPT

クローズアップ

大阪府が誘致を目指す2025年の国際博覧会(万博)について、私たち会派は、大阪全体に万博の効果的に広がることを目的とした万博・統合型リゾート(IR)プロジェクトチームを発足させました。

私たちの見解として、万博の開催は、大阪を世界に向けて発信できる絶好の機会として、大阪・関西、ひいては日本のさらなる発展につなげていくためにも、国、経済界、地元自治体の役割を明確に示すことが重要と考えています。適正な開催経費の下、効果的に準備を進めていかなくてはなりません。

とりわけ、2020年に開催される東京五輪が当初の見積り予算より大きく上回り、計画見直しを余儀なくされている状況から、こうした懸念を払拭し、府民から愛される万博とするためにも、開催経費については、透明性、妥当性、情報公開を進め、適切に府民への説明責任を果たす義務があると考えます。

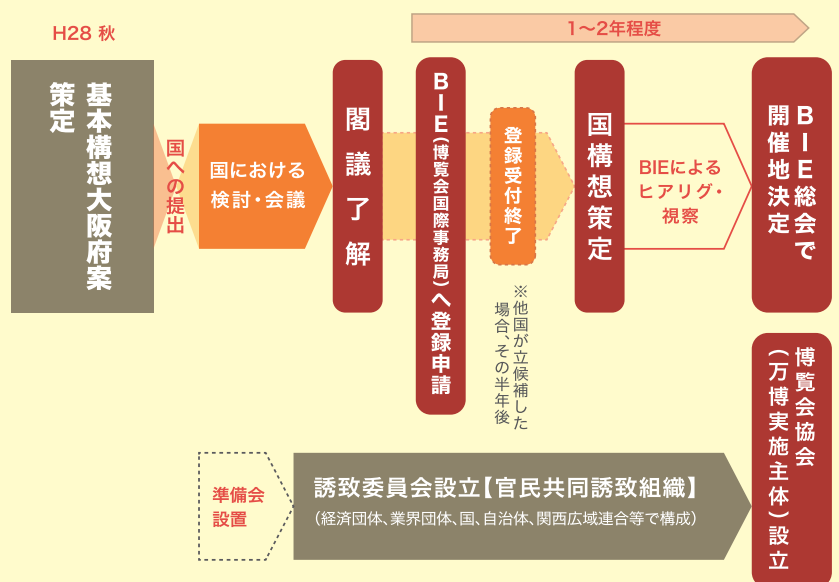
大阪万博とは

府の基本構想案によると、「人の健康・長寿への挑戦」をテーマに、2025年5月から10月に大阪湾の人工島・夢洲(大阪市此花区)で開催。約3,000万人の来場者を見込み、経済波及効果は約6.4兆円としています。

また、会場建設費として、1,200億円～1,300億円、運営費を690億円～740億円と試算しており、費用分担には関西財界の協力が不可欠とされています。

府は昨年11月に基本構想案を政府へ提出。政府は有識者会議を設置して基本構想をまとめ、閣議了解を経て来春ごろに博覧会国際事務局(BIE、本部・パリ)に立候補を届ける方針です。

万博開催地決定までの流れ(イメージ)



徳永慎市 プロフィール

昭和41年東成区生まれ。
大阪市立宝栄小学校・東陽中学、府立高津高校を経て、兵庫県立神戸商科大学卒。
平成19年大阪府議会議員当選(2期)。現在、府議会府民文化常任委員会 委員長。
自由民主党東成副支部長、自由民主党大阪府連財務副委員長。

大阪市東成区神路1-2-10

徳永しんいち事務所 Tel. 06-6976-1313



<http://徳永しんいち.com>

徳永しんいち

検索



<http://tokunaga-report.com>



<https://www.facebook.com/tokunaga.shinichi?fref=ts>